

令和4年度 指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和4年度分】

| | | |
|-----------------|----------------------------|-----------------------|
| 施設概要 | 名 称 | ①福間体育センター |
| | | ②津屋崎体育センター |
| | | ③福間武道館 |
| | | ④津屋崎武道館 |
| | 所 在 地 | ①福津市西福間2丁目9番1号 |
| | | ②福津市津屋崎1丁目5番1号 |
| | | ③福津市西福間1丁目3番1号 |
| ④福津市津屋崎1丁目5番16号 | | |
| 設置条例 | ①・②福津市体育施設条例、福津市体育施設条例施行規則 | |
| | ③・④福津市武道館条例、福津市武道館条例施行規則 | |
| 指定管理者 | 名 称 | NPO法人スポーツニュースター |
| | 代表者 | 理事長 沖 祐一 |
| | 所 在 地 | 福津市津屋崎1丁目36番23号 |
| | 指定期間 | 平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日 |
| 所 管 | 部課名 | 福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係 |
| | 評価期間 | 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日 |

◎モニタリング項目別の総合評価コメント

I 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)

【運営状況】

開館日数において、コロナ禍の影響も考えられたが、今年度は感染対策を取りながらおおむね目標値どおりの開館日数及び時間となった。開館時には、感染対策として、こまめな衛生管理と館内の空調管理を講じることで、感染者の発生を防ぐ運営を行っている。

また、スタッフの接遇研修や緊急時対応マニュアルの作成などを行い、利用者に対する窓口サービスの向上を図っている。

自主事業として、貸しロッカーの設置のほか、ふくつ総合型地域スポーツクラブドリームスポーツネットワークの活動を支援し、多くの参加者、利用者を獲得している。

【利用状況】

稼働率は、昨年度実績より2.3%下がっているが、これはコロナ禍での臨時休館等の影響もなくなり、供用時間がコロナ禍前に戻ったことでの影響がある。しかしながら、利用者数では、すべての施設で前年度を上回っており全体では前年度実績の61,604人の約24.8%増であった。コロナ禍で利用を控えていた利用者の活動再開等が影響しているものと思われる。

【収支状況】

収支においても、他自治体からの利用者の増加もあり、利用料金収入実績は前年実績(5,107,080円)の約14%増となり、目標値を大きく上回っている。

| |
|--|
| <p>Ⅱ 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)</p> <p>【基本的事項】 利用者が公平公正に利用できるようインターネットで分かりやすい施設空き状況の発信と窓口、電話受付時に具体的に分かりやすく対応、説明することを実践している。</p> <p>【執行体制】 計画に沿ったスタッフ配置の実行と労働環境の整備、定期的な研修とミーティングを通じて、スタッフの健康管理、安全管理、教育を行い、常に適正な体制を整えている。</p> <p>【緊急時対策】 年2回の消防点検や救急救命の研修を実施しており、緊急時における対応に備えている。また、夏期の熱中症対策のため、冷凍庫や保冷剤の確保を進めている。</p> |
| <p>Ⅲ 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)</p> <p>利用者の怪我や事故防止のため、備品の破損や故障について日常点検を行っている。貸ロッカーの設置による貸出備品棚の整理整頓により、利用者の利便性を向上している。開館時間15分前出勤と閉館後15分後退社の勤務シフトにより、日常の清掃と安全確認を行い、施設周辺の問題点等も日報を通じてスタッフ間で情報共有を行っている。</p> |
| <p>Ⅳ サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)</p> <p>利用者アンケートを実施し、備品の改善やフロアワックスなどの要望が多い事項について迅速に対応している。苦情トラブルについては、市所管課への迅速な報告と利用者対応、スタッフ教育等の適切な対応が取られている。施設周辺の高木、中低木の剪定を行い、安全管理面の環境整備を行っている。</p> |

◎モニタリング全般の総合評価コメント

| |
|--|
| <p>◆ 総合評価コメント</p> <p>前年度に引き続き、コロナ禍による感染対策を講じながらの運営となったが施設運営及び維持管理を着実にこなし、施設のPRや利用促進を中心に、特色ある社会体育施設づくりへの取組を実践している。市民を構成母体としている「定期利用団体」から定期的なアンケートで意見を集約し、ともに管理に関する理解を深めることを意識して対応することで、利用者の満足度も高水準を維持している。</p> |
| <p>◆ 今後の業務改善への考え方</p> <p>管理運営については、高い稼働率・利用者の評価を今後も維持継続してほしい。施設の老朽化に伴う維持管理面での労力が増大していくと思われるが、他の施設管理でのノウハウや2期6年目の管理となる経験を最大限発揮して、市と連携をより深め、より良い社会体育施設となることを期待する。</p> |

第5 指定管理者モニタリングチェックシート

【令和4年度】

| | | |
|-------|-------|---|
| 施設概要 | 名 称 | ①福間体育センター ②津屋崎体育センター ③福間武道館 ④津屋崎武道館 |
| | 所 在 地 | ①福津市西福間2丁目9番1号 ②福津市津屋崎1丁目5番1号 ③福津市西福間1丁目3番1号 ④福津市津屋崎1丁目5番16号 |
| | 設置条例 | ①・②福津市体育施設条例、福津市体育施設条例施行規則 ③・④福津市武道館条例、福津市武道館条例施行規則 |
| 指定管理者 | 名 称 | NPO法人スポーツニュースター |
| | 代表者 | 理事長 沖 祐一 |
| | 所 在 地 | 福津市津屋崎1丁目36番23号 |
| 所 管 | 指定期間 | 平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日 |
| | 部課名 | 福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係 |
| | 評価期間 | 令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日 |

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I - 1. 運営状況

| 評価項目 | 事業計画(目標) | 事業実績 | コメント |
|----------|--------------------------|--------------------------|------|
| 開館(開場)日数 | ①330②331③329④359 | ①328②329③327④347 | |
| 開館(開場)時間 | ①4,030②4,030③4,030④2,080 | ①4,012②4,012③4,012④1,479 | |
| 自主事業開催数 | 4 回 | 3 回 | |

I - 2. 利用状況

| 評価項目 | 事業計画(目標) | 事業実績 | コメント(計画との比較) | |
|---------|----------|----------|--------------|--------|
| 延べ利用者数 | ① | 36,500 人 | 37,134 人 | 101.7% |
| | ② | 21,000 人 | 29,465 人 | 140.3% |
| | ③ | 12,000 人 | 9,660 人 | 80.5% |
| | ④ | 6,000 人 | 6,670 人 | 111.2% |
| | 計 | 75,500 人 | 82,929 人 | 109.8% |
| 事業参加者数 | - | - | - | |
| 稼働率(平均) | ①アリーナのみ | 60 % | 88.1 % | 146.8% |
| | ② | 60 % | 81.7 % | 136.2% |
| | ③ | 20 % | 25.7 % | 128.5% |
| | ④ | 20 % | 41.3 % | 206.5% |

I-3. 収支状況

| 評価項目 | 事業計画(目標) | 事業実績 | コメント(計画との比較) | |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------|
| 利用料金収入 | ① | 2,300,000 円 | 3,286,240 円 | 142.9% |
| | ② | 1,500,000 円 | 2,222,220 円 | 148.1% |
| | ③ | 150,000 円 | 217,360 円 | 144.9% |
| | ④ | 50,000 円 | 101,200 円 | 202.4% |
| | 計 | 4,000,000 円 | 5,827,020 円 | 145.7% |
| 自主事業収入 | 自販機収入 | 350,000 円 | 311,791 円 | 89.1% |
| | 自主事業 | 250,000 円 | 151,800 円 | 60.7% |
| | 計 | 600,000 円 | 463,591 円 | 77.3% |
| その他収入 | 自販機収入外 | 146,000 円 | 138,600 円 | 94.9% |
| | 計 | 146,000 円 | 138,600 円 | 94.9% |
| 指定管理料 | 7,690,000 円 | 7,944,200 円 | 103.3% | |
| 収入合計 | 12,436,000 円 | 14,373,411 円 | 115.6% | |
| 人件費 | 7,458,000 円 | 7,979,864 円 | 107.0% | |
| 修繕費 | 500,000 円 | 1,295,628 円 | 259.1% | |
| 運営事業費 | 4,078,000 円 | 6,399,629 円 | 156.9% | |
| 自主事業支出 | 400,000 円 | 486,280 円 | 121.6% | |
| 支出合計 | 12,436,000 円 | 16,161,401 円 | 130.0% | |
| 収支差引 | 0 円 | -1,787,990 円 | | |

I 業務運営状況の総合評価コメント

【運営状況】

開館日数において、コロナ禍の影響も考えられたが、今年度は感染対策を取りながらおおむね目標値どおりの開館日数及び時間となった。また、スタッフの接客研修や緊急時の対応マニュアルの作成などを行い、利用者に対する窓口サービスの向上を図っている。また、年間の大会受付方法、地元団体を中心とした定期利用団体登録、一般利用者登録ほうしきを取り入れ、事前の予約体制を明確にすることにした。自主事業として、貸ロッカーの設置のほか、ふくつ総合型地域スポーツクラブドリームスポーツネットワークの活動を支援し多くの参加者、利用者を獲得している。

【利用状況】

利用者数は最高を記録。利用料金収入もこの5年間で一番の成果が出た。しかし、コロナ禍の影響からか、時期によっては、大会や定期利用団体の感染対策から利用頻度が減少し、高齢化に伴う定期利用団体の解散や縮小に至ることも今年度も見られた。しかし、新たに家族や小グループの利用登録や短時間での利用が増加したことが特徴的であった。

【収支状況】

収支においてもコロナ禍での閉館の影響も考えられたが、他自治体からの利用者の増加し、利用料金収入実績は前年実績(5,107,080円)の約14%増となり、利用料の大幅増の推移となった。しかしながら、修繕費の増加などから単年の赤字となった。